

# 新指針の方向性（案）

現指針の方向性を引き継ぎ、新たな視点を付加する。

**理念**  
**泉北ニュータウンの**  
**まちの価値を高め、次世代へ引き継ぐ**  
**～「新のまち」から「真のまち」へ～**

**基本方針 1**  
**多様な世代が住み、集い、働き、安心して暮らし続けることができるまちをめざす**

**泉北スタイル**

- 子育て、高齢者支援
- 地域コミュニティの維持
- 商業機能の維持・活用
- 交通、医療、教育機能の向上
- 職住一体・近接に向けた働く環境づくりへの支援
- 健康寿命の延伸の取組推進 等

**基本方針 2**  
**田園空間と調和し人や環境にやさしいまちと暮らしの実現をめざす**

**泉北スタイル**

- 住宅ストックの活用
- 豊かな緑地空間の活用
- 省資源、省エネルギーの実現
- 食の安全、健康づくり
- 先進技術を活用した暮らし
- 防災・防疫の暮らしづくり
- 周辺農地や集落との共存 等

**基本方針 3**  
**まちに関わる人の輪を広げ、つなぎ、行動し、地域力の向上をめざす**

**泉北スタイル**

- パートナーシップによる地域づくり
- 地縁型組織、テーマ型組織の活性化
- 地域の情報発信 等

**基本方針 4**  
**社会資本を健全に維持・活用しながら、持続可能な都市経営をめざす**

- 居住機能や医療・福祉・商業、公共交通等のさまざまな都市機能の適正配置と資源運用
- 市民協働型経営と行政サービスの適正化 等


- 再生に向けた取り組み（現指針）**
- 多様な年齢階層がバランスよく居住するまちとして、多様な住宅や交流の場を整備する
  - 身近な範囲に、暮らしを支える多様な機能の配置を誘導する
  - 子どもの笑顔があふれるまちとして、子どもの教育・育成環境の向上をはかる
  - 高齢者をはじめ誰もが安心して暮らせる環境を整備する
  - 地区センター・近隣センターを人が集まる場所として機能強化をはかる
  - 既存施設の積極的な活用や適切な管理を進める
  - ゆとりのある郊外居住を実現するまちとして、緑豊かな住環境と自然や農に触れる環境を整備する
  - 地球環境にやさしいまちづくりを進める
  - 公共交通体系の維持・充実化及び利用促進をはかる
  - まちに関わる人たちのパートナーシップによる、主体的なまちづくり活動を促進する
  - 泉北ニュータウンのまちの魅力や暮らし方を「泉北スタイル」として発信する

これまでの指針の考え方を継承

新しい方針を議論

過去10年間の評価と社会動向の変化をもとに、構成も含め更新

**泉北スタイルの示し方**  
**（現指針）方針ごとに示す**



**（新指針）住民の属性ごとに示す**  
4つの基本方針やエリア（駅前、住宅地、農村など）を意識し、高齢者世帯、子育て世代、働き世代など、多様な住民の属性を軸にした「暮らし方像（ペルソナ）」を示す。

**【住民像イメージ例】**

**Aさん**（24歳、独身、Webデザイナー）  
リノベーション公的賃貸住宅で住み・働きながら、地域活性化のプロボノ活動も行う  
**若年単身者のライフスタイル**

リモートワーク、パートナーシップ、既存施設の活用、コワーキング、市民活動、情報発信

**Bさん**（35歳、夫婦・子、カフェ経営）  
旧村で自然を身近に感じながら、趣味を活かした職住一致の暮らしを楽しみ、近居で子育ても行う  
**起業家既婚女性のライフスタイル**

ゆとりある郊外居住、子育て環境、職住一体、親世帯近居、泉北の農、趣味を仕事に

Cさん（・・・）

## グランドデザイン 2040 の実現

- ニュータウンのフロントランナーとして、国内外事例のモデルとなるエリアへと変貌。
- 「豊かな緑空間」と「多様な都市機能」が融合する「21世紀型の田園都市」へ

## 新たに踏まえる視点

- ・SDGsの理念実現  
国から「SDGs未来都市」の選定を受けている堺市。泉北ニュータウンにおいても持続的な開発を目指したプランづくりを展開
- ・健康長寿のまち  
大学、医療機関などと協力して、市民の健康長寿につながる取り組みを展開
- ・スマートシティの推進  
シェアサイクルや次世代モビリティの導入など、ICTを活用した先進的取り組みを展開
- ・職住一体・近接のライフスタイル促進  
田園都市本来の姿をめざし、居住に加え、働く場等の多様な都市機能が高度に複合したまちを展開